

Tokyo

薩摩士魂の会

平成20年版

代表挨拶



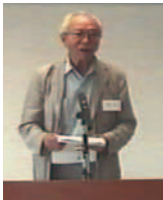
代表
森園 安男

薩摩武士道・郷中（ごじゅう）の精神を以て、この頹廢せる世の人の心の建て直しをなさんとして薩摩士魂の志を同じくする者達で5年前発足しました。

薩摩の一隅より炎を燃やしてやがては日本の為に貢献出来たらと活動を続けて来ました。更に志を同じくする伝統ある長州、土佐、肥前、会津、庄内を始めその他の団体と親睦を計り協力してその実をあげんとして、すでに荘内南洲会、肥前の葉隠とは交流を深めつつあります。

数年前武士道精神が澎湃（ほうはい）として叫ばれて来ました。新渡戸稲造、李登輝、ラストサムライ、藤原正彦等、今またその波動が再び大きく胎動して来ました。平成20年の1月31日全国の武士道・精神作興団体の連合を目指してのNPO法人武士道協会が立派な方達の構成で設立され発足しました。まさに天の時の到来を感じずにはおられません。

本会報をご覧くださいまして薩摩士魂の会への更なるご理解とご協力を賜れば幸いです。



実行委員長
前園 利治

理 念

「薩摩士魂」とは、遠くは島津日新斎以来の武士、近くは西郷南洲をはじめとする薩摩の志士たちが身を挺して示してきた正義感、質実剛健の気概、自立・自尊・自戒の精神などであり、それらはかつての薩摩人の誇りであった。

われわれ薩摩士魂の会はこの伝統ある薩摩士魂を、現代に生きるみずからの心に蘇らせ、日ごろの行動指針にすべく自奮・自励し、もって郷土鹿児島および心ある人々の倫理観の在りかたに一石を投じることを念願とする。

モットー：薩摩士魂の具体的活動の実践

今までの主な活動

本会は毎月例会を開き、武士道・いろは歌・西郷南洲・教育問題などに関する研究を重ねております。今までの主な具体的行動は下記の通りです。

平成17年 1月	鹿児島県内12地域の「かごしま地域塾」に関してアンケートを依頼（4頁参照）	平成17年12月	文部科学大臣小坂憲治氏へ教育基本法改正、ゆとり教育の見直し、土曜日授業の再開等、教育改革に関する提言書を提出
平成17年 6月	鹿児島県知事伊藤祐一郎氏へ県政改革に関する提言書を提出	平成18年 3月	「かごしま地域塾」支援・協力に関するアンケート実施
平成17年 9月	当会代表世話人川野重任氏（当時）が「かごしま地域塾サポートチーム委員」を委嘱される	平成18年 7月	鹿児島県知事伊藤祐一郎氏へ「かごしま地域塾」に関する提言書を提出
平成17年10月	薩摩士魂「一日一善（省）」の自奮自励に関するアンケート実施	平成18年 7月	鹿児島市長森博幸氏へ市政改革に関する提言書を提出
		平成19年 7月	「さつまの良き伝統と文化」の催しを三州倶楽部にて開催

今後の方針

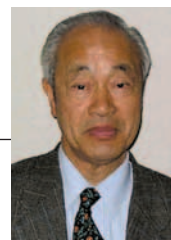
1. 幕末明治維新期の人物や史実の研究を深める。
2. 研究の成果を、総会や催し物を通じて広く薩摩ゆかりの方々へ発表する。
3. 志を共有する全国の方々と連携し、相互に研究会や訪問を行う。

薩摩士魂の会は平成19年12月15日（土）、講演会を開いた。白石念舟氏は「西郷南洲手抄言志録」、有村國宏氏は桜田門外の変（義挙）で薩摩藩からただ一人加わったご先祖の有村次左衛門をテーマに、「有村家四兄弟の家族の絆」と題してご講演いただいた。会場の三州倶楽部には100名を超える参加者が集まり、熱心に聞き入った。約1時間ずつのご講演の要旨は次の通りです。

講演会 薩摩の偉人シリーズ①

有村次左衛門（桜田門外の変） 「有村家四兄弟の家族の絆」

講師 有村 國宏氏



プロフィール 昭和9年生／昭和32年学習院大学卒、大和證券入社／昭和45年旭日藤居本家支配人（新嘗祭用白酒（しろき）謹醸元）／昭和46年滋賀県議会議員／昭和59年滋賀県議会議長／藍綬褒章受章／現在 財団法人近江兄弟社顧問／滋賀県テニス協会会長／有村家本家14代／参議院議員有村治子（全国区）の父

徳川300年の屋台骨が揺らぐきっかけとなった桜田門外の変（義挙）は、実際に歩いてみると、彦根藩の藩邸跡から桜田門までのわずか550歩の間で起きている。薩摩藩からただ一人加わって井伊大老の首級を挙げた有村次左衛門の辞世の句。

「岩が根も くだけざらめや もののふの くのためにと 思ひ切る太刀」

和歌の素養があり、若くして京へ上って関白近衛家から蓮壽院の号をもらった母親の蓮（れん）は、男四兄弟のうち二人までを義挙でなくす母親の心境を歌に託した。

「雄々しくも 君に仕ふるもののふの 母てふものは あわれなりけり」

次左衛門のすぐ上の兄雄助も参加を懇願したが、事の首尾を見届け、京都で兵を挙げる重要な役を切望されて、水戸藩の金子孫次郎と箱根を越えた。四日市で薩摩藩留守居役の人達に捕縛され、大坂から船で薩摩へ。国元の空気は一変しており、報告のための藩庁での面会も許されずに翌朝切腹。長兄の俊斎（のちの海江田信義）が一晩かけて結果を聞き取り、記録に残した。

父親の仁右衛門は若い頃、お由羅騒動の一味との嫌疑を受けて家禄を召し上げられた。生活のために刀鍛冶を始めたり、都城での開墾に打ち込んだりしたが、赤貧洗うがごとし。子供達に戒めの言葉を残して早世した。

「生まれ来て 男子たるものすべからく 忍の一字を忘るべからず」

幼子を抱えた母親蓮の苦労は並大抵ではなかったが、男女7人の子供を立派に育てた。三男の次左衛門は桜田門外の変で自刃、次男の雄助は鹿児島で切腹、長兄の俊斎は海江田姓を継いだため、有村家は私の曾祖父に当たる四男で末弟の如水國彦が継いだ。

私は家内の里が旧彦根藩領にあり、そこに38年前から住んでいる。時の彦根市長は井伊直愛氏。「薩摩です」と挨拶しただけで、後は学習院の先輩としてお付き合い戴いた。一筆お願いしたら、「積善の家に余慶有り」とあり、掛け軸にしてある。赤貧の内で国に尽くしたご先祖を誇りに思い、身を戒めている。（有村國宏氏にはご講演のため、わざわざ彦根から上京していただいた。）

講演会 薩摩の修養道德書シリーズ①

「西郷南洲手抄言志録」

講師 白石 念舟氏



プロフィール 本名 白石洋二／昭和17年生／田山方南先生（文部省国史編纂官兼国鑑査官・主任文化財調査官）師事／茶道コンサルタント

西郷南洲の心の奥の奥を知らなければ、西郷という人物を見ることはできない。南洲の一次資料には書や詩、書簡などがある。書は数多く残されている。漢詩は約200。特に沖永良部島幽閉時代に詠まれた19の漢詩には、南洲の心が現れている。手紙も400位が大西郷全集などに掲載されている。こうした資料を通して、西郷南洲の精神というものが分かる。

座右の銘にしておられたのが西郷南洲手抄言志録。幕末の儒官、佐藤一斎が残した言志四録1000数か条のなかから自分の心に触れた101か条を抜き出し、座右に置かれた。

佐藤一斎は表向き朱子学を講じたが、陽明学に傾いた人で、点検してみると西郷南洲は一斎の言志四録のなかから陽明学の教え、つまり実践の哲学を抜き出しておられる。南洲の政治に対する見識を後に庄内藩士がまとめた西郷南洲遺訓には、この101か条が強い影響を与えている。

26条「心の官は則ち思ふ。思の字只これ工夫の字なり。…知と行とは一の思の字に帰す」（知行合一、勉強したら実行せよ。）

38条「知はこれ行の主宰なり、乾道なり。行はこれ知の流行なり、坤道なり。…則ち知行これ二にして一、一にして二なり」（知行合一）

54条「一燈を提（ひき）げて暗夜を行く。暗夜を憂ふるなかれ、只だ一燈を頼め」

西郷南洲が影響を受けたものとして、他に水戸学や禅宗などがある。若い頃、大久保利通らと坐禅を組んだ石が鹿児島に残されている。沖永良部島幽閉の艱難辛苦の時代にも、囲いのなかで坐禅を組まれた。当時の心境を綴られた漢詩を点検してみると、禅宗の世界でいう悟りを開けたことが分かる。

そういうものを読むと西郷南洲は、われわれの三次元の世界から、ひとつ上の段階に上がった人だと理解できる。まさに日本文化が1500年かけて作りあげた偉大な人物である。大久保らと右左に並べて論ずること自体が間違いだ。文化力を高めてはじめて偉大な人物が生まれてくることを、西郷南洲は教えてくれている。

代表挨拶／理念・実践／今までの主な活動／今後の方針	1
講演会 薩摩の偉人シリーズ①（有村國宏氏）／薩摩の修養道德書シリーズ①（白石念舟氏）	2
「薩摩のよき伝統と文化」の催し	3・4
東京の薩摩史蹟巡り／荘内南洲神社例大祭参加	5・6

自作自演

「さつまの良き伝統と文

さつまの良き伝統と文化を見つめ直し、その真髓を感じ、学び、活かしてもらうための催しを(社)三州倶楽部で実施しました。

催し内容

1. いろは歌 作／島津日新斎 講釈／前園利治

作者の島津日新斎忠良の人物像からはじまり、加世田隠居後、家臣団教育指導の工夫の中で誕生した経緯、その評価までを紹介。いろは歌の内容と解説を資料配布し、の中で、「い」「こ」をクローズアップして取り上げ、詳しく解説しました。

い いにしへの 道を聞きても 唱えても わが行いに せずばかいなし

(どんなことを聞いても、現実に実行しなくては何の効果もない。大切なことは、それをやってみることである。)

こ 心こそ 軍する身の 命なれ そろゆれば生き 揃はねば死す

(戦をする場合、みんなで、心をひとつにして事に当ることが勝利の秘訣である。みんなの心が一つなら成功し、バラバラなら失敗する。)

2. さつま物語 朗読劇「十五夜ノ綱引ッ」 和田／藤井／池田／有馬／前橋／牧之内／竹下

昭和16年頃の話です。十五夜の前に、直径15匁、長さ40匁の綱を綯う。そのため、稚児組(～14才)、二才組(15才～24才)が、山や家庭を回って、葛を集め、藁を集める。その過程で、二才組が、子供達に対して、それとなく、礼儀作法を教える。人に会ったら丁寧にお辞儀をする。ちゃんと挨拶をする。弱い人を労り、年寄りを敬う。嘘を言わぬ。正直に生きる。また、谷をとび越えるのを、躊躇している者がいると、周りの者が囃したてる。「泣こかい、とぼかい、泣こよかひつとべ!」と、それをきっかけにして、谷をとび越すなど。そして、本番の綱引きをやって、五穀豊穡と、皆の健康を祈る。このようにして、子供達に、薩摩魂をしっかり身につけさせました。



3. 芝笛 竹丸清憲(曾於市財部町出身)

一枚の櫛の葉を、指で葉を押さえないで、口に咥えただけで吹奏する。楽器のない音楽会である。

演奏曲 1. ここに幸あり 2. コンドルは飛んで行く 3. あざみの歌 4. 悲しい酒

アンコール曲 星影のワルツ／哀愁の草



4. 自顕流：演武と体験 葉丸野太刀自顕流東京支部 横須賀／野田／牧之内／岡野／他

近代日本に向かって、歴史の歯車を大きく回した幕末薩摩藩志士の多くは、自顕流の遣い手でした。桜田門外の変の有村次左衛門、生麦事件の奈良原喜左衛門。桐野利秋、西郷従道、東郷平八郎なども。

飛び入り体験者／18名

一撃必殺
続け打ち
抜き



化」の催し

平成19年7月21日 13:00~16:00

5. 薩摩琵琶

約1500年前、お祈りの盲僧の琵琶として、中国より、南九州、そして京の都へ伝わって来ました。750年前源頼朝の外子、島津忠久が、薩摩の守護職を命ぜられ、京都の常楽院の盲僧検校を御霊とともに薩摩に連れて吹上で保護して来ました。

450年前、いろは歌の島津日新斎が、「さむらいの琵琶」に改造し、武士の教養、士気高揚のために奨励したのが現在の薩摩琵琶です。

また、明治天皇がこよなく薩摩琵琶を愛好されましたので、明治神宮の春の大祭で森園が薩摩琵琶を献奏しております。

薩摩琵琶士弦会 会長 森園史城

「城山」は、勝海舟が三年がかりで作り上げた西郷隆盛への鎮魂の琵琶です。薩摩琵琶の最も代表的な曲です。

「夫れ達人は大観す、抜山蓋世の勇あるも、栄枯は夢か幻か、大隅山の狩倉に、真如の月の影清く、無念夢想を観ずらん、、、木だまに響く関の声、百の雷一時に、落つるが如き有様を、隆盛打見てほほぞ笑み、あな勇ましの人々や、、、いざ諸共に塵の世を、逃れ出でんは此の時と、ただ一言を名残にて、桐野村田を始めとし、宗徒のともがら諸共に、煙と消えしますら雄の、心の内こそ勇ましかれ、、、孤軍奮闘囲みを破って還る、一百の里程壘壁の間、我が剣は既に折れ、我が馬は倒る、秋風骨を埋める故郷の山、、、官軍之を望み見て、昨日は陸軍大将と仰がれ、君の寵遇世の覚え、比なかりし英雄も、今日はあへなく岩崎の、山下露と消え果てて、移れば替わる世の中、無常を深く感じつつ、、、折しもあれや吹きおろす、城山松の夕嵐、」



催し反響

催しに参加した人員 **283** 人

アンケート提出人員 **73** 人

提出率 **25** %

「郷中教育」について	知っていた 49 人	知らなかった 22 人	未記入 2 人
「いろは歌」について	知っていた 39 人	知らなかった 31 人	未記入 3 人
「十五夜ノ綱引ツ」について	知っていた 30 人	知らなかった 41 人	未記入 2 人

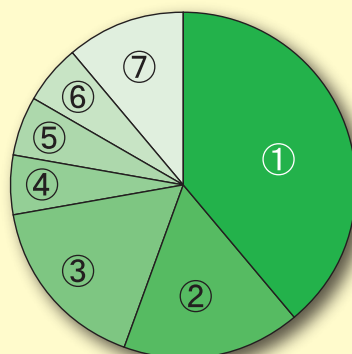


会場風景

かごしま地域塾12塾へのアンケート (平成17年1月)

<重複回答可>

薩摩士魂の会代表世話人川野重任氏(当時)が「かごしま地域塾サポート委員」を委嘱され、さらにプロジェクトチームを立ち上げてアンケートを収集するなど鋭意検討を重ねた。



①	呼びかけに対する青少年の反応が少ない	7
②	リーダーや指導的立場に立てる人がいない	3
③	最小限基本的なカリキュラムが欲しい	3
④	計画の進め方がよく分からない	1
⑤	保護者の理解や協力が不足気味	1
⑥	予算的にもう少し欲しい	1
⑦	その他(※)	2
合 計		18

※離島の子供達との離島での交流／予算の執行

東京の「薩摩の史蹟巡り」 平成19年10月27日

平成19年10月27日（土）会員26名が、東京近郊にちりばめられた薩摩ゆかりの史蹟を巡った。日本海海戦の雄・東郷平八郎を奉った原宿の東郷神社が出発点。

1

台風20号の激しい雨の中を次の紀尾井坂に向かった。殖産興業・富国強兵の信念を吐露した直後の大久保利通無念の終焉の地である。近接する清水谷公園の大久保公哀悼碑に詣でる。バスは進む。

2

川路利良が初代大警視として礎を築いた警視庁を右に見て、有村次左門が薩摩から唯一人加わり安政の大獄の首魁井伊直弼の首級を挙げた桜田門外の変の現場を左に見て、お堀端を進む。この変は雛節句を祝っていた篤姫に直ちに知らされたという。その大奥跡を遥かに車中から望む。

3

上野では西郷さんの凜とした雄大さを感じ、南へ下る。

4

田町の薩摩屋敷跡、南洲・海舟の無血開城会談跡を経て、幻の宰相小松帯刀の末裔経営の品川駅構内の「薩摩屋敷」で昼食。小松家家臣末裔入鹿山達郎様から全員に焼酎「小松帯刀」を戴く。

5

さらに豪雨の高速道路を生麦へ。浅海武夫館長が長年に亘り国内外から蒐集した貴重な生麦事件資料の宝庫・生麦参考資料館を訪問一同感銘。

6

その後一路、世田谷区洗足池へ。勝海舟夫妻の墓の一隅に西郷南洲の留魂祠がある。

豪雨のなか感動の参詣である。

7

愈々最終地。幕末の英国留学生であり北海道開拓使として輝かしい実績を残しながら流浪の末に果てた村橋久成ゆかりのサッポロビール恵比寿ビアホールで長淵剛の「きばいやんせ」等薩摩健児の意気を高らかに謳い上げ、打ち上げた。

8

東郷神社

東郷平八郎16歳の初陣・薩英戦争も嵐の日であった。



1

大久保利通公哀悼碑

「折れるより曲がっても所信を貫く」
堅忍不拔の政治家を悼む。



2

桜田門外の変の跡地

安政7年上巳の節句
3月3日、雪中での激闘であった。



3

江戸城跡

「女の道は一本道。前に進むだけにございます。」篤姫も住んだ江戸城大奥跡を遥かに望む。



4

上野、西郷どんの銅像

西南の役没後、明治22年帝国憲法発布に際し正三位を追贈された。銅像は高村光雲の作。



4

品川の「薩摩屋敷」

明治天皇に下賜された本邦初の駅中食堂「薩摩屋敷」。焼酎「小松帯刀」の乾杯で盛り上がる。



5

(土)

in TOKYO



6

生麦参考資料館

浅海武夫館長の貴重な収集品が溢れる。鹿児島からの来訪者や講演依頼が相次ぐという。



7

勝海舟別邸に建つ西郷南洲「留魂祠」

西郷隆盛沖永良部島幽閉中の「獄中感有り」の手書きの書を刻んだ石碑が豪雨の中に光る。



8

恵比寿ビアホールでの打ち上げ

サッポロビールの創設者村橋久成（薩摩出身）の開拓者精神を偲びつつ恵比寿ビアホールで盛り上がりこの史蹟巡りは大団円に終わった。

平成19年度 荘内南洲神社例大祭参加（山形県酒田市）

平成19年9月22日～24日



荘内南洲会の小野寺時雄理事長を囲んで

平成19年は西郷隆盛生誕180年、没後130年という節目の年でした。南洲神社は全国に4社ありますが、その節目の年に薩摩士魂の会では山形県の南洲神社例大祭参加を企画し、8名が参加しました。

西郷南洲翁をご祭神とするこの神社は酒田市にあります。戊辰戦争の時、庄内藩は最後まで官軍に抵抗し敗北しました。庄内藩は厳しい処置がなされると思っています

したが、寛大な処置で済みました。西郷隆盛の指示によるものでした。それを知った庄内藩主酒井忠篤や多くの藩士は、「荘内南洲会」を創建し、広く「南洲思想」の普及に努力しています。しかもこの荘内南洲会においては、広く南洲翁の精神を述べ伝えるために「西郷南洲翁遺訓」を出版し、希望者には無料で配布しています。



荘内南洲神社社殿



薩摩士魂の会代表祝辞



西郷南洲と菅実秀(庄内藩家老)



庄内藩校 致道館



致道博物館

in
YAMAGATA

薩摩士魂の会は、五年前から、
 武士道の研究を進めている。
 現代の道徳心の低下はなんとかならないか。
 かつては、自己を犠牲にし、他を思いやる精神が
 われわれにはあった。
 さつまの良き伝統と文化を通じ、
 いま一度、武士道をこれからの若い世代に伝えたい。
 関東在住の三州（薩摩、大隅、日向）出身の皆さんをはじめ、
 薩摩、長州、土佐、肥前、会津、庄内等の志を同じくする人々と
 協力して精神作興をはかる活動を進めたい。

薩摩士魂の会 役員

（平成20年3月現在）

顧問	救仁郷	齊〔元住宅公団副総裁〕	代表世話役	森 園 安 男（世田谷区）	
	谷 村 昭 一〔元経企庁事務次官〕			有 馬 純 幸（茅ヶ崎市）	竹 下 健 一（松戸市）
	豊 藏 一〔セントラル野球連盟会長〕			飯 田 昌 之（日野市）	野 田 正 興（横浜市）
	春 成 幸 男〔元三州倶楽部会長〕			大倉野 貞 俊（練馬区）	前 囿 利 治（世田谷区）
				川 畑 満洲夫（新宿区）	前 橋 竹 之（葉山町）
				宿 利 義 和（西東京市）	宮 内 博 教（さいたま市）
				白 尾 裕（富士吉田市）	本 園 金 盛（豊島区）

※50音順 カッコ内は現住所